

令和6年度使用 小学校教科用図書調査研究結果

算 数

令和5年8月23日（水）

伊予市教科用図書調査委員会

【調査・研究資料】教科名（算数） No. 1

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
2 東京書籍	新編 新しい算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている目標及び学年の目標・内容に基づき、4領域に沿った内容が適切に選択されている。 ○ 第1～5学年は、B5判で分冊である。第1学年①のみA4判とし、見開きで作業をしたり記述したりしやすくなっている。第6学年は、合冊構成となっており、学習を振り返りやすくなっている。 ○ 内容は、日常生活や以後の学習に不可欠な基礎的・基本的なものを重視して取り上げたり、記述・展開についても問題解決学習のステップを重視したりしているなど、丁寧さを感じる。 △ 内容量が若干多い。また、まとめの文字が小さくあまり目立たないため工夫が必要である。 ○ 単元の導入に役立つ「オープニングムービー」がQRコードを読み込むことで見られるようになっており、児童が生活経験を想起しながら取り組むことができるよう工夫されている。 ○ ノート指導を重視している。 ○ 第4学年からプログラミング教育が掲載され、オリジナルコンテンツが充実していて分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な内容をスパイラルに学習することに重点が置かれ、一つの学期に集中したり連続したりしないよう単元の配列が工夫されている。 ○ 本文、問題、図表などの関連は適切である。 ○ キャラクターの吹き出しをヒントに学習が進められるようになっている。単元の前半部分ではしっかりと数学的思考のモデルが示され、後半部分では簡単な記述にして児童自らが思考を巡らせ問題解決できるようになっている。 ○ 第2学年下巻以降に「今日の深い学び」のページを設け、問題解決的な学習の過程や対話を通して課題を見出し、総括する流れを示している。 △ 対話の際、具体的にどのように説明すればよいか例を示すなど工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的な活動を重視した展開で構成され、基礎的・基本的な概念や性質の理解、技能の習熟を確実に行うことができるように配慮されている。ほぼ全てのページにQRコードが記載されており、デジタルコンテンツ（約1450）を通して内容が理解しやすくなっている。 ○ 第2学年以上には1単位時間の最後に、発展的に考え次時の学習内容を創造することを促すために「それなら」を新設したり、既習と統合して考えることを促す場面では、「同じように考える」とを新しく付記したりして、数学的活動の楽しさや数学の良さに着目できるようになっている。 ○ 実物の写真をできるだけ使用し、実生活との関連を意識しやすいに配慮している。 ○ 児童がつまづきやすい問題では、アニメーションで計算操作をイメージさせたり、図を用いて分かりやすく説明したりしている。 ○ 巻末に「ふりかえりコーナー」があり、前学年の基本的な既習事項を確認することができる。内容はシンプルで分かりやすい。 	<p>各単元において、数学的な見方・考え方を働かせた学びを実現し、数学的に考える資質・能力を育むための工夫がなされている。</p> <p>数学的活動を基にした問題解決の過程が可視化されており、分かりやすく丁寧な問題解決の学習展開を通して、基礎的・基本的な概念や性質、技能が身に付けられるように構成されている。</p> <p>デジタルコンテンツが充実しており、児童の学びを充実させる手立てとなっている。</p> <p>1ページにおける内容量が多く、読みにくさを感じる。また、問題文の文字は大きく分かりやすいが、まとめの文字が小さくあまり目立たないため、強調するなど工夫が必要である。</p> <p><u>総合的に判断し、採択するのに適している教科書であると考える。</u></p>

【調査・研究資料】教科名（算数） No. 2

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
4 大 日 本 図 書	新 版 の し い 算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている目標及び学年の内容に基づき、4領域に沿った内容がバランスよく配列されている。 ○ 内容は、児童の発達段階に適応している。 ○ 第1学年は、2分冊構成・A4判となっており、活動や書き込みなどがしやすくなっている。 △ 第2～6学年は、B5判で学年1冊の合本となっており、学年初めに1年間の学習内容を見通して計画を立てることができるが、重さの点に課題が残る。 △ プログラミング教育が全学年で取り入れられているが、具体的な思考の流れが紙面からは分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元において、児童の思考の流れに沿った展開となっており、内容は系統的・発展的に構成されている。 ○ 本文、問題、図表などの関連は適切である。 ○ 日常生活に関連した題材や、学習したことを生活の中で活用する問題を扱っている。 ○ 単元の導入では、児童自身が疑問や課題を見出し、主体的に取り組めるよう工夫されている。 ○ イラストや写真は、美しく親しみやすいものが用いられている。また、QRコードで動画が見られるようになっていて、児童に興味・関心を持たせる工夫がされている。 △ 「ひらめきアイテム」にシールを貼ったり、第5・6学年は書き込んだりするようになっているが、児童の自主性に任せると活用しにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びを実現させるために「じっくり深く学び合おう！」のページが取り入れられている。話し方・聞き方のモデルも示されている。 ○ 「単元全体をふりかえろう」では振り返りの例が書かれている。 ○ 単元末の「たしかめ問題」では、学習に遅れがちな児童には水色の問題だけ解かせるなど習熟度に応じた指導ができるようになっている。 ○ 巻末補充問題「プラス・ワン」では、様々な難易度の問題を設け、習熟度別指導や学力向上への配慮がなされている。 ○ 約1400のデジタルコンテンツがあり、充実している。 △ 発展的な問題が少ない。また、学期の途中での練習問題が設定されていない。 △ 分かりやすく色分けされているが、教具などが小さく扱われており、見づらさを感じる。 	<p>各単元において、数学的な見方・考え方を働かせた学びを実現し、数学的に考える資質・能力を育成できるように工夫されている。</p> <p>分かりやすく丁寧な問題解決の学習展開を通して、基礎的・基本的な概念や性質、技能が身に付けられるように構成されている。</p> <p>学年1冊の合本となっているためやや重く、毎日の持ち運びには若干不便である。また、紙面上での分量が限られてしまい、行間が詰まって見づらさを感じる。</p> <p>基本的な学力の定着を図るためには、問題量が少ない。また、発展的な問題が少ないので工夫が必要である。</p>

【調査・研究資料】教科名（算数） No. 3

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
11 学校図書	みんなと学ぶ小学校算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている目標及び学年の内容に基づき、4領域に沿った内容がバランスよく配列されている。 ○ 内容は、易から難へと段階を細かくして展開してある。また、既習事項を活用して解決できるように配置されており、発達段階に応じたものになっている。 ○ AB判で横幅が広く、第1～5学年は上下巻に分冊されている。グラフや図形などが書き込みやすい。第6学年別冊の「中学校へのかけ橋」では、これまで「見方・考え方」を使って算数を学んできたか、振り返ることができるようにしてある。 ○ プログラミング的思考を育むためのページ「プログラミングのプ」が全学年に設けられている。第1・3学年の課題には切り取って使える付録が用意されており、体験することで思考を育むことができるようになってきている。 ○ 算数の学びの中で身に付けた力が社会へと広がっていく力になるように、全学年にSDGsに関するコラムを取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元において、児童の思考の流れに沿った展開となっており、内容は系統的・発展的に構成されている。 ○ 単元の導入では、ストーリーのあるイラストを用いて生活の場面から素材が提示されており、作業的・体験的な数学的活動も取り入れながら課題把握ができるように工夫されている。 △ 反面、いろいろな考え方の例や解説が示されており、児童の多様な考え方の妨げになることが考えられる。 ○ 道具を使って作図する場面においては写真を多く活用し、使い方が具体的に分かるように説明している。 ○ 「ふりかえろう つなげよう」で、既習内容を板書をイメージしたページを見ながら発展的・統合的に捉え直すとともに、新たな発見や深い理解が得られ、さらに次の学びへの興味・関心へとつなげることができるようになってきている。 △ カラーで色分けすることで分かりやすく工夫しているが、逆に目移りしてしまうのではないかと心配される。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ わり算や割合など、つまずきの多い単元を二つに分け、繰り返し学習できる単元配列にしている。基礎的・基本的事項を十分理解し、定着できるように配慮されている。 ○ 第2学年以上の単元の導入では、「?を発見」を設け、場面イラストや「考え方モンスター」を用いて、これから学習する内容についての興味喚起を図ったり、単位時間の終わりに「つながりの?」を設けたりして、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 単元末には、その単元や複数の単元で学習した内容を活用して日常の課題を解決する問題が取り入れられ、数学を活用することの意義を感じることができるようになってきている。 △ 学期の途中での練習問題が設定されていない。 △ デジタルコンテンツが610と少ない。 	<p>つまずきの多い単元を二つに分け、繰り返し学習できる単元配列にするなど、基礎的・基本的な内容を十分に理解し、定着できるように配慮されている。</p> <p>学習のつながりや積み重ねを意識し、次につなげることを重視した単元構成になっているため深い学びが期待できる。</p> <p>練習問題の数が少なく基礎的・基本的な内容の定着に課題が残る。</p> <p>プログラミング的思考を育むためのページが全学年に設けられている反面、デジタルコンテンツが少ない。</p> <p>AB判なので作図など教科書上での作業は、書き込みやすい。しかし、全体的に文字が小さく、グラフ等も読み取りにくい。また、毎時間、ノートを使うことを考えると机上のスペースが狭くなるのが心配される。</p>

【調査・研究資料】教科名（算数） No. 4

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
17 教育出版	小学算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている目標及び学年の内容に基づき、4領域に沿った内容が適切に配列されている。 ○ 内容は、児童の発達段階に応じたものになっている。 ○ 導入では、身近な題材や既習事項から算数の問題を見出したりつくったりできるように工夫されている。 ○ B5判である。第2～4学年は上下巻に分冊されている。 △ 第1学年は1冊で分厚く重い。 △ プログラミング教育が第4学年から取り入れられ、プログラムの思考や情報活用能力が育成されるよう工夫されているが、内容はあまり充実していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のまとまりごとに「課題→ステップ→発表・話し合い→振り返り・まとめ→確かめ→練習」という展開で構成されており、無理なく学習が進められるよう工夫されている。 ○ 本文、問題、図表などの関連は適切である。絵や写真などを使って問題場面がイメージしやすくなっている。全体的に落ち着いた色合いで学習に集中できるよう配慮されている。 ○ 単元の導入は問い掛けから始まっていることが多く、児童が問題に気付き、解決する思考のモデルがつかみやすい構成となっている。 ○ 振り返りがしっかりとされており、学力の定着に効果的である。 ○ 単元の間「復習」をはさみ、学年末には「学年のまとめ」を設け、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図れるよう工夫されている。 △ 単元末「まとめ」の始めに四コマ漫画の「ふりかえろう」は、捉え方に個人差が起ころう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習事項を繰り返し参照できるように、「学びのマップ」「学びの手引き」が掲載されており、前学年までに学習したことを確認できるように工夫している。 ○ 単元ごとの活用問題として「学んだことを使おう」を設け、身の回りから算数を見付けたり、算数を使って日常の問題を解決したりする活動を取り入れている。 ○ 1時間の授業のノート例を示すなど、書く活動を重視している。 △ 「はてな」→「なるほど」→「だったら」という問いの連続でつくる主体的・対話的で深い学びを重視した構成・展開となっているが、毎時間の学習のめあて、まとめが分かりづらく、授業を組み立てにくい。 △ 591のデジタルコンテンツが用意されているが、主に知識・技能に関する動画で、練習問題には対応していない。 	<p>繰り返し学習の機会を適宜設け、基礎的な学力を習得し、維持されるように工夫されている。</p> <p>問いの連続によって学習が展開される構成になっており、主体的・対話的な学びが期待できるが、より確かな学びにするためには、毎時間、めあてとまとめを加えるなど、学習展開に合うような工夫を要する。</p> <p>学習問題のフォントが他よりも大きくて見やすいが、大事な部分のフォントが小さく目立たないため重要性が伝わりにくい。また、図や教具の扱いが小さく、分かりにくい。</p> <p>1ページにおける分量が多く、煩雑である。</p>

【調査・研究資料】教科名（算数） No. 5

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
61 新興出版社啓林館	わくわく算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている目標及び学年の内容に基づき、4領域に沿った内容が適切に選択されている。 ○ 内容は、児童の発達段階に応じて工夫されている。 ○ プログラミング教育が全学年で取り入れられている。スクラッチとオリジナルコンテンツの2種類が用意されており、内容が充実している。 ○ 日常との関わりのある場面について数学的な見方・考え方を働かせながら知識や技能を習得したり、活動したりできる問題が多く取り入れられている。 ○ 登場するキャラクターが人種・福祉・ジェンダーなどの多様性に配慮されている。 ○ B5判である第2～4学年は上下巻に分冊されている。第1学年の「すたあとぶっく」では、書き込んだりブロックの操作をしたり、しやすいように中綴じの製本形式となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元において、児童の思考の流れに沿った展開となっており、内容は系統的・発展的に構成されている。 ○ 本文、問題、図表などの関連は適切である。日常の事象や既習内容をベースに主問題が設定されており、解決の見通しを持ったりその過程を振り返ったりして、児童が主体的に学習を進められるようになっている。 ○ 練習問題が単元中・学期中間と学期末に設定されており、学習内容を確実に習熟できるように配慮されている。 ○ 第2学年以上に「見方・考え方を深めよう」の単元を設定し、問題解決の過程で図や表、式に表して考えたり伝え合ったりする力が付くよう配慮されている。 ○ 第3学年から「わくわくSDGs」があり、算数科と関連させている。 ○ 第6学年では、「数学へのとびら」のページを設け、中学校の学習の素地となる内容を取り入れている。 ○ 文字が大きく行間が広いいため読みやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主問題にめあてとまとめが毎時間設定されており、めあてにつながる児童の問いや気付きを「学習のめばえ」として提示することで、課題発見の過程を大切にしている。「数学的な見方・考え方」にはマーカーを付けて価値付けられるようにしている。 ○ 学習展開においては、キャラクターの会話や補助設問を適宜設定し、基礎的・基本的な概念や性質などを理解しやすいように配慮されている。 ○ 約1600のデジタルコンテンツがあり、児童が試行錯誤しながら学びを深められる。練習問題に「ヒント」が掲載されており、児童の自力解決に役立てることができる。 ○ 学期末や学年末に生活に根ざした活用単元を設定し、算数科で学んだことを使って、児童が興味を持って楽しく学習できるように工夫されている。 ○ 巻末に「学びのサポート」（補充・挑戦問題）があり、習熟度に応じて取り組むことができる。 	<p>生活していく上で基礎となる数学的知識・技能を習得できる構成となっている。</p> <p>毎時間、めあてとまとめが設定されており、課題意識をもって学習することができるため、より確かな学びが期待される。</p> <p>問題解決の際、思考の助けとなる絵や図、表、式などを多く例示したり、話合いの場面では根拠や手順を説明する活動を取り入れたりして、数学的な思考力や表現力が育つように配慮されている。</p> <p>デジタルコンテンツが充実しており、児童の学びを充実させるための手立てとなっている。</p> <p>巻末に「学びのサポート」を設け、児童の興味・関心に応じて、自主的に学習に取り組むことができるようになっている。また、図のかき方やよく使う考え方などを紹介するなど、基礎的・基本的な概念を理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能が身に付くよう配慮させている。</p> <p><u>総合的に判断し、採択するのに最も適している教科書であると考え</u> <u>る。</u></p>

【調査・研究資料】教科名（算数） No. 6

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
116 日本 文 教 出 版	小 学 算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている目標及び学年の内容に基づき、4領域に沿った内容が適切に配列されている。 ○ 内容は、発達段階に応じたものになっている。 ○ B5判であり、第1～4学年は上下巻に分冊されている。第5・6学年は1年間を見通した学習ができるよう合本になっている。 ○ プログラミング的思考を育むためのページ「レッツプログラミング」が全学年に設けられている。ソフトはScratchであるが、教科書内に使い方が示されていて分かりやすい。第5学年では正方形のかき方や今日のラッキーカラーなど、内容も充実している。 △ 1単位時間で学ぶ内容が凝縮されており、算数科を苦手とする児童にとっては内容が難しい。スモールステップで学べるよう工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低学年では、単元を分散的に構成し、同じ内容が長い期間続かないようにしたり、高学年では、学習の効果・効率を考慮し、関連する内容をまとめたりするなど、発達段階を考慮して単元を配列している。 ○ 本文、問題、図表などの関連は適切である。 ○ 全時間にめあてとまとめを設けて、児童の自宅学習のサポートになっている。 ○ 自分の考えを発表する場面では、数、式、図、表など様々な表現方法を用いた説明を展開している。 ○ 第2学年以降では、前時間の学習の最後に振り返りを促すよう設定している。 ○ 内容は、系統的・発展的に構成されている。学びを広げる「使ってみよう」が設定されており、身近にある問題を課題とすることで、学習したことを生活の場に生かしたり、算数科の楽しさを実感したりできるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の始めに楽しい活動や既習事項の振り返り、身の回りの観察などが取り上げられ、学習意欲が高まるように配慮されている。 ○ 教室内外で取り組むことができる作業的・体験的な数学的活動を取り入れ、活動の楽しさや数学の良さを味わえるように工夫している。 ○ 毎単元後、「わかっているかな」「たしかめよう」「次の学習のために」など、段階的に学習を進められるように配慮されている。 △ 問題数が多く、負担になるのではないかと心配される。 ○ 巻末に「算数マイトライ」を設け、難易度別の問題を示している。 ○ 実物の写真をできるだけ使用し、実生活との関連を意識しやすいように配慮している。 ○ 主体的・対話的で深い学びを実現するために、「自分でみんなで」のページが設けられており、話し合い活動に組み込みやすい。 ○ 838のデジタルコンテンツがあり、練習問題は正誤判定がついているため取り組みやすい。 	<p>学習内容が焦点化され、学習の流れがより分かりやすくなるように工夫されている。</p> <p>筋道を立てて考え、表現するための学び方をはっきりと示す構成になっている。</p> <p>既習問題から発展問題へと順序立てて構成されているので、思考の流れがスムーズである。</p> <p>1単位時間で学ぶ内容が凝縮されているため、算数科を苦手とする児童にとっては、負担が大きい。</p>